

# TENRIKYO PEARL CHURCH

# 80<sup>th</sup> Anniversary

SEPTEMBER 14, 2014



## Message from the Reverend

Dear Members and friends,

Pearl Church's 80<sup>th</sup> Anniversary provides us with the time and opportunity to remember and honor our roots and our history from the time of our first head minister Rev. Tsugi Nagayama, to our 2<sup>nd</sup> head minister Rev. Yoshinobu Nakao, to the present.

Rev. Tsugi Nagayama was a widow and illiterate when she first came to Hawaii and yet with her fervent faith she was able to establish Pearl Church in 3 years. My father and mother, Rev. Yoshinobu and Tomiko Nakao arrived in 1954 to take over the church with hardly any knowledge of English. They were able sustain and maintain the church for 40 years during which time the church was moved from Palama to Kaimuki and the church building was rebuilt. In 1994 I was installed as head minister this year marking my 20<sup>th</sup> year. We've been focused on supporting the mission headquarters activities, doing nioigake and salvation work and community service at the Jarrett Middle School Foundation and doing yard work for the elderly in the neighborhood. Through the efforts of members, friends, family, Tengen Bunkiyokai, Mission Headquarters of Hawaii, attendance to our monthly services has increased and recently we were able to purchase the back property.

Taeko and I would like to thank the members, family and friends for their support for these many years.

We would like to dedicate this 80<sup>th</sup> Anniversary by reaffirming our resolve towards Oyasama's 130<sup>th</sup> Anniversary by being more active in nioigake and salvation work.

Mahalo nui loa!

Rev. Owen O. Nakao





## ハワイ在住 60 年を回想する

中尾善宣(パール教会前会長)

1954 年夏、7 月 26 日第一回おちばがえりこどもひのきしんが始まった年、私は天理の三島周辺の天元の信者のこども達を 60 名ほど引率して、教会本部礼拝殿で参拝し、やかた東棟の土持ひのきしんに参加した。

### 前途不安なヒサン航路

8 月 10 日、私たち夫婦は、神戸港からアメリカンプレジデントラインのウィルソン号に乗船した。二段ベッドで三等より下(元は貨物室)の 20 人ほどの船室で、夫婦は別ルームとなり、憧れのハワイ航路は、これからの苦難の道中を思わせる悲惨な不安航路となった。登美子は 5 日間は、船酔いで絶食状態で、食堂にも出られなかった。同船していたアロハ教会の川崎みゆき会長さんが、おさづけを取り次いでもらってやっと快復。8 月 19 日、ホノルル港に到着した。



豪華客船とは言えアジアからのアメリカ行きはこの航路のみで、縁故をたどってアメリカへ行きたい移住者と留学の学生達で混雑していた。

私たち夫婦は所持金 \$ 20 ほど、身の回り品としては行李一つの難民風の一介の天理教布教師。

パール教会に着任したのは 1954 年 8 月 19 日である。日本は太平洋戦争の敗戦から 9 年、アメリカとの講和条約が締結され、敗戦後の混乱は続いていたが、ようやく国際社会に乗り出そうとしていた。

日本航空はアメリカへの航空路線を開始。ハワイでは住友系の中央太平洋銀行の創立。そして天理教団も二代真柱様の英断でハワイ伝道庁が創立された。そして今年。私のハワイ在住も 60 周年となった。1954 年はパール教会が創立されて 20 周年であったが、そのことに少しも気づかず過ごしてしまった。教祖のひながたのご苦勞を思えば、物の数にも入らないけれど、この 60 年、私たちにもいくつかの山坂や、いばらぐろうやがけ道があった。とにかくハワイの土地に這いつくばってしがみついて過ごした 60 年である。

親神様の不思議なご守護によってそれらを乗り越えて、今日の恵まれた日々があることを終生忘れることはない。



### 資金のないところから教会建物を入手

パール教会着任当時から、井上初代庁長は教会へ参拝する度に、この教会を何とか再生させねばの親心から教会の土地建物購入するよう諭された。1960 年迄に Owen ,Morris ,Elmer ,Carl ,の 4 人の子供を授けて頂いた。6 人家族では手狭である、雨漏り、床、壁もシロアリに食われ、家屋は老朽している。

土地購入基金の積み立てをしてはどうかと井上庁長の勧めで 1962 年正月から、大して集まらないだろうがやってみようと信者をお願いした。信者数は 30 軒ばかり。庶民の乏しい生活の中から毎月運んで下さった。

それが \$ 700 くらいになった 7 月、売家があるが不動産屋と見てきなさいと井上庁長から電話があって 1634 10<sup>th</sup> avenue のハウスを見に行った。総額 2 万ドル、頭金 3000 ドル(着手金 1000 ドル)

建物は相当古く築 50 年以上。神殿として使える場所は 10 年ほど前に新築で建て増

してあるので神殿として使える。私はこれは買おう、買わねばならねばと心に決めた。とにかく **2300** ドルを何とかしようと考えた。何の根拠もあてもないのに何とか出来ると確信していた。契約が迫ってくるまで基金集めに狂奔した。猪突猛進の **40** 日であった。今になってもその時の気忙しかった日々は忘れない。信者達は教会が家を買うということに半信半疑で、苦しい家計の中から思い切って献金してもらうよう必死で頼み込んだ。

息子と二人暮らしの高令の前田トメさんは、私は収入はないが、「息子に言うてどうしても出させます」と言うてお供えして下さった。

すぐに着手金 **1000** ドルを払い、一カ月後 **2000** ドルを払わなければ **1000** ドルは違約金としてとられてしまう。とにかく **2000** ドルの資金が必要となったが **1500** ドルまでは集まったがあと **500** ドル足りなかった。社本正登司さんが中央太平洋銀行に知り合いがいる。銀行から借りようということになった。役員の **86** 歳の大竹サカヨさんは私の住宅は自分のものだから、私が保証人になると言ってくれた。その必要はなかったけれど、これも力強いひとつの真実である。定収入はなかったが、**200** ドル伝道庁から毎月支給してもらっているという書類を作成した。期日までに **2000** ドルを支払った。危機一髪のタイミングで、契約が成立した。経済的実績、支払保証のない人間が2万ドルの売買契約が成立した。この文明国のアメリカで現れた不思議。自分にとっては奇跡と言う他ない。以来 **20** 年余毎月のローンの支払いは並大抵ではなかった。生活は困窮したが生き延びた。身上も事情も続いたが不思議に乗り越えた。ローンの上にまた借金しているのでいつまでたっても **1万6000** ドルのバランス。

### 夢のような神殿ふしん

移転以来、**22** 年、神殿部分のビーム(梁)にシロアリの被害で、いつ落ちてもおかしくない



状態となったが、修理も出来ず、もちろん建て替え出来ず切羽詰まった。三男の **Elmer** はこの際、建て替えよう、私が資金は出すと言ってくれた。**Elmer** は中学生の時に、私に僕は教会を建てると言っていた。自力でハワイ大から南カリフォルニア大、スタンフォード大学院経営学のマスターを取得。六つの銀行、会社から誘われたが、**1985** 年ニューヨークのソロモンブラザー証券会社に入社。幹部社員としてアークヒルズの東京支店に勤務して、三年にしてこの教会ふしんに真実を尽くした。**26** 年間残っていた積年の **1 万 6000** ドルのローンの支払いをすました折の爽快な気分は今も記憶に残る。

神殿ふしんの理のお許しの際にも、**Owen , Elmer** が付き添いとなってくれた。**1989** 年起工式を執り行った。

総工費は **50** 万ドル。**1989** 年 **11** 月 **5** 日、神殿落成奉告祭を執行した。

**1994** 年は教会創立 **60** 周年、伝道庁創立 **40** 周年にご臨席の三代真柱様、奥様(随行飯降政彦、山澤廣昭)永尾一夫庁長は **5** 月 **13** 日、パール教会にご参拝になった。私は、真柱様に **60** 周年の旬に、会長をオウエンに継承させることを申し上げた。

私は年齢は **66** 歳、会長在任 **37** 年、早く若い世代に会長を継承させ、英語社会のハワイに溶け込み時代に対応できる態勢を作ることを願って譲る決意をした。

### 会長を退任

**1994** 年 **7** 月 **26** 日、オウエンは会長任命のお許しを頂いた。井上初代庁長はお祝いとして **38** 母屋に、にぎり寿司を届けて下さった。初代庁長のお心づかいに感激。**9** 月 **11** 日、会長新任奉告祭を執行した。

妻、登美子と結婚したのは、**1953** 年 **10** 月 **10** 日。以来、今年で **61** 年、難渋の日々であったが、よく耐えて生き抜いた。

**10** 番街に移転して、多額のローンの支払い、家計の増大、末娘のグレースも誕生、**4** 男 **1** 女の子育





て、私が働かねばとてもやっていけないと、プリンセスカイウラニホテルで働くことを決意した。家計を支え、その責任を果たした。

苛酷な労働の後も、にをいがけや信者の丹精に務めた。

**1970** 年代には私もドライバーライセンスをとると決意し取得した。その当時、ハワイ管内の教会長夫人たちで、ライセンスをもつ人がなく、あの人がとるなら私もとそれが刺激となったこともある。

引っ込み思案の性格であったが、切羽詰まった環境に追い込まれて、私がやらなければ、この教会はやっていけないという不動の信念で突き進んでいったのである。今年 **85** 歳。老生は家内の苦労を思い起こし、介護の日々を過ごしている。

困苦欠乏に耐え、老生と共にひながたを求めて生涯を過ごしてくれたことに感謝あるのみである。

**Elmer** は、私たち夫婦の住居としてハワイカイ地区で敷地 **171** 坪・建坪 **70** 坪を **45** 万ドル購入したので、そこへ移転した。

**2011** 年 5 月 4 日、登美子は脳梗塞のお手入れを頂いた。身上不自由ながらご守護を頂いて、老々介護の三年有余が経過した。そして教会創立 **80** 周年を迎えた。

この年、隣接地、**120** 坪の土地売りに出た。地主は高額の落札者があったが、教会に買ってもらいたいとし売買契約が成立。価格は **70** 万ドルで、会長兄弟役員が話し合い、やりくりすることになって話はまとまった。教会敷地総面積は、**250** 坪余りとなった。

**80** 周年の時旬に見せて頂いた不思議なご守護に一同の喜びは、計り知れない。

**60** 年前、行季一個をかついで移り住んだ一介の布教師夫婦から、現在私の一族は、**26** 人となっている。

現在一族は、ハワイに在住し、教会を信心の拠り所として、真面目にハワイの社会の市民として日々を過ごしている。

親神様が成人に応じて時旬にお見せくださる不思議なご守護にただ感謝あるのみで、明日に向かってたすけ一条のよふぼくとしての歩みを続けている。

## **Pearl Church Abridged Chronological Table**

- 1875-11-18 The first head minister of Pearl Church, Tsugi Nagayama, was born in Ikinoshima, Nagasaki, Japan.
- 1921 Ms. Nagayama worked in Manchuria (Northeast China), and eventually became a member of Tenrikyo Keijo Grand Church after being saved from a severe eye ailment that nearly lead her to become blind.
- 1926 Became a live-in staff at the Tengen Mission Station and eventually became determined to become a missionary. She then filed an application to the Overseas Mission headquarters which was established in 1927, to become a missionary abroad.
- 1931 Due to her earnest desire to participate in the overseas mission, Rev. Nagayama was able to obtain a missionary visa. As a woman missionary at age 56, she arrived by ship in Honolulu harbor. She settled into a rented house at 1012 Austin Ln. in Honolulu where she began her missionary work.
- 1934-09-29 She received sanction to establish Pearl Church. The name "Pearl" was given by Rev. Tamenobu Nakayama, head of the Overseas Mission Department.
- 1936-01-26 On Oyasama's 50th Anniversary Sakayo Otake and Kisayo Ogasawara (both members of Pearl Church) entered Bekka (at the time, the six-month Spiritual Development Course)
- 1937-11-28 In the 100th year of Tenrikyo, 11 people including Ijyu Kusumoto and Kijiro Inai received the Grant of Sazuke.
- 1941-12-07 After the surprise attack by Japanese naval forces that hurled the US into the Second World War, official authority prohibited missionary work to all religious establishments.
- 1945-08-15 At the end of WWII, Rev. Nagayama resumed her missionary work.



- 1948-03-25 Due to her deteriorating physical condition, Rev. Nagayama returned back to Jiba.
- 1949-02-25 While recuperating at Tengen church, she finally passed away for rebirth at the age of 74. Ijyu Kusumoto temporarily took over her position at Pearl Church.
- 1954-05-20 Shozen Nakayama (2<sup>nd</sup> Shinbashira), Mrs. Nakayama, and his son, Zenye Nakayama (3<sup>rd</sup> Shinbashira), visited Pearl Church.
- 1954-05-23 Tenrikyo Hawaii Mission Headquarters was established.
- 1954-08-19 Yoshinobu and Tomiko Nakao obtained missionary visas and arrived in Honolulu harbor by the Wilson passenger ship.
- 1957-03-26 Yoshinobu Nakao received a sanction to become the Second Head Minister of Pearl Church.
- 1962 Purchased 5000 sq. feet of property on 1634 10<sup>th</sup> Ave. for \$20,000.
- 1965 Hawaii Dendocho (mission headquarters) moved from King St. to Pali Highway. Yoshinobu Nakao was appointed as member of the Hawaii Mission Headquarters board of directors.
- 1980-11-22 Owen Nakao married to Taeko Araki at the Mission Church Headquarters.
- 1994-05-13 Zenye Nakayama the Shinbashira, Mrs. Nakayama visited Pearl Church with Rev. Masahiko Iburi, Rev. and Hiroaki Yamazawa with Bishop Kazuo Nagao as attendant.
- 1994-07-26 Owen Nakao received a sanction of the Third Head Minister of Pearl Church.
- 1994-09-11 The Third Head Minister Installation and 60th Anniversary service was held.
- 2013-11-22 Pearl Church purchased the adjacent 5,000 square feet property.

## パール教会 略年譜表

2014年9月14日

- 1875 年 (明 8.11/18) 長山ツギ初代会長壺岐ノ島で出生
- 1921 年 (大 10) 満州(中国、東北地方)で出稼ぎ中、眼病患入信吉林教会(京城)に所属
- 1926 年 (大 15) 所属変更、天元宣教所に住み込ハワイ布教志す。  
伝道部 (1927 年創設) へ願い出る。
- 1931 年 (昭 6.6/2) 伝道部の尽力で布教師ビザ収得。56 歳女性布教師としてホノルルへ到着。1012 Austin Lane, Honolulu の借家から布教開始。
- 1934 年 (昭 9.9/29) パール教会設立認可。中山為信先生より「パール」と命名頂く。
- 1937 年 (昭 12.11/28) 立教 100 年。楠本亥十、稲員喜治郎ら 11 名おさづけの理拝戴
- 1938 年 (昭 13) 小笠原キサヨ、家族と共に教会へ住み込む。
- 1941 年 (昭 16.12/7) 日本海軍パールハーバー奇襲攻撃。  
教会に官憲立ち入り、布教活動禁止を通報される。
- 1945 年 (昭 20) 第二次世界戦争終結。布教開始。長山会長、布教中バスから降車の際にケガ。
- 1949 年 (昭 24.2/25) 長山会長、身上の為お地場へ帰る。天元詰所にて出直す。(享年 74 歳) 楠元亥十パール会長代務者となる。
- 1954 年 (昭 29.5/20) 中山正善二代真柱様、奥様、善衛様パール教会御参拝。  
(5/23) ハワイ伝道庁設立  
(8/19) 中尾善宜、登美子布教師ビザを取得し、ウイルソン号にてハワイ上陸。
- 1957 年 (昭 32.3/26) 中尾善宜パール二代教会長任命のお許し頂く。

1962 年 (昭 37) パロロバレー十番  
街 1634 10th Ave.  
Honolulu にて 5000  
sq.ft. (約 1 2 0 坪)  
の土地を二万ドル  
で教会として買取。  
教会所有として、  
教会移転のお許し  
を頂く。

1965 年 (昭 40) ハワイ伝道庁  
Kingstreet より 2920  
Pali Highway に移転。  
中尾善宣、伝道庁  
主事に任命される。

1980 年 (昭 55.11/22) 中尾オウエン、荒  
木妙子が伝道庁に  
て挙式、ホールで

披露宴

1994 年 (平 6.5/13) 中山善衛三代真柱、  
まさ奥さま(随行)飯  
降政彦、山澤ひろ昭、  
永尾一夫庁長パール教会御参拝下さる。

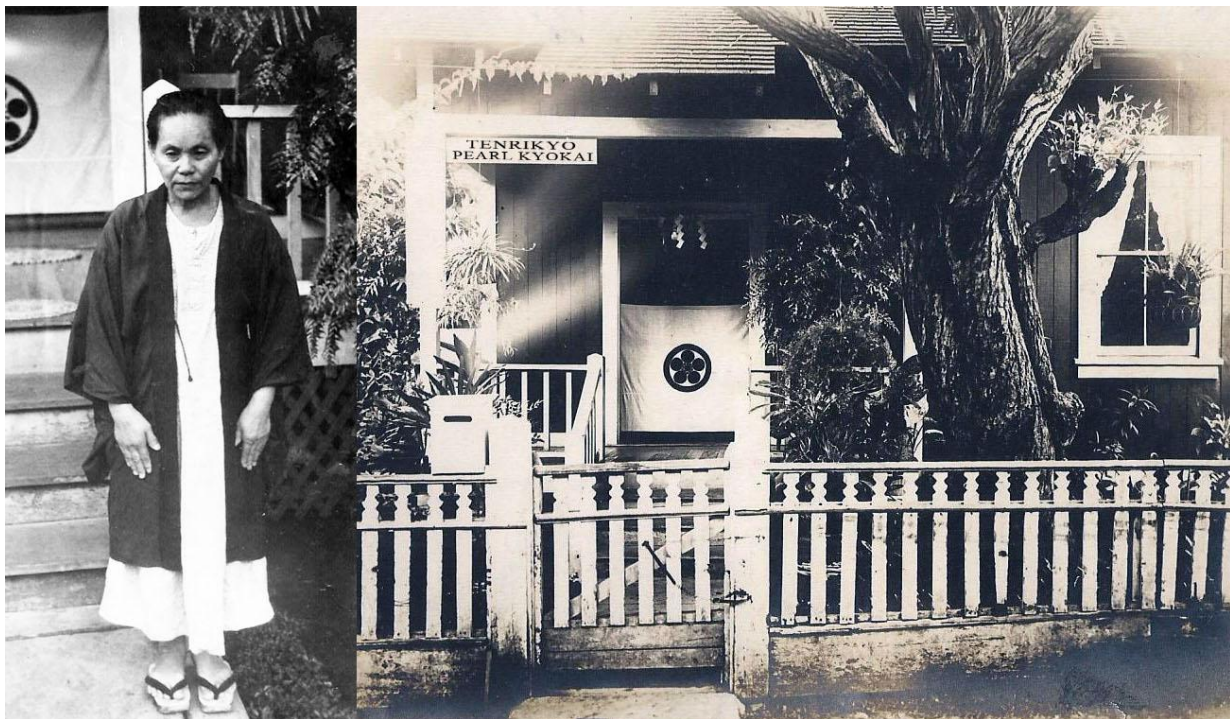
1994 年 (7/26) 中尾オーエン治パール会長任命のお許し頂く。  
パール三代会長就任奉告祭を執行

2013 年 (平 25.11/22) パール教会の隣接地 1 5 0 坪の土地を購入。



Owen and "Obaachan," Tengen 3<sup>rd</sup> Head  
Minister, Rev. Masa Nakao at Dendocho. In  
Honolulu for Pearl Church move to Palolo  
Dedication Service.in March of 1963.





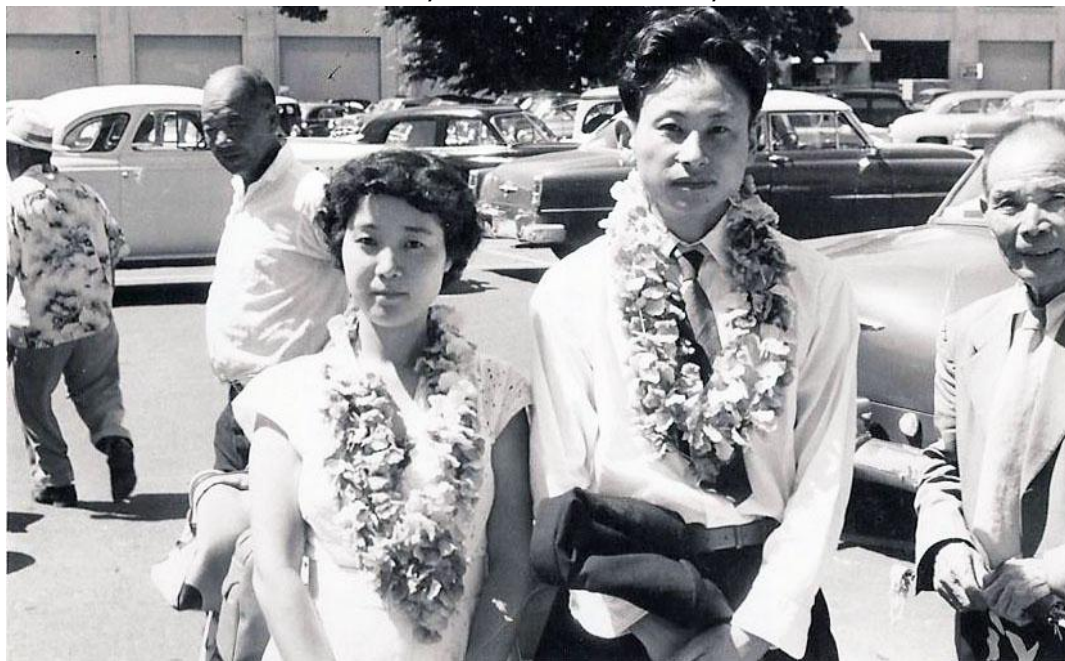
In 1931, Rev. Tsugi Nagayama, at the age of 56, was able to obtain a missionary visa to eventually establish a church in a rented house at 1012 Austin Ln. in Honolulu in 1934. Photo on the bottom right show her followers.







In 1938, Rev. Nagayama brought these followers of Pearl Church to participate in Tenrikyo's 100<sup>th</sup> Anniversary.

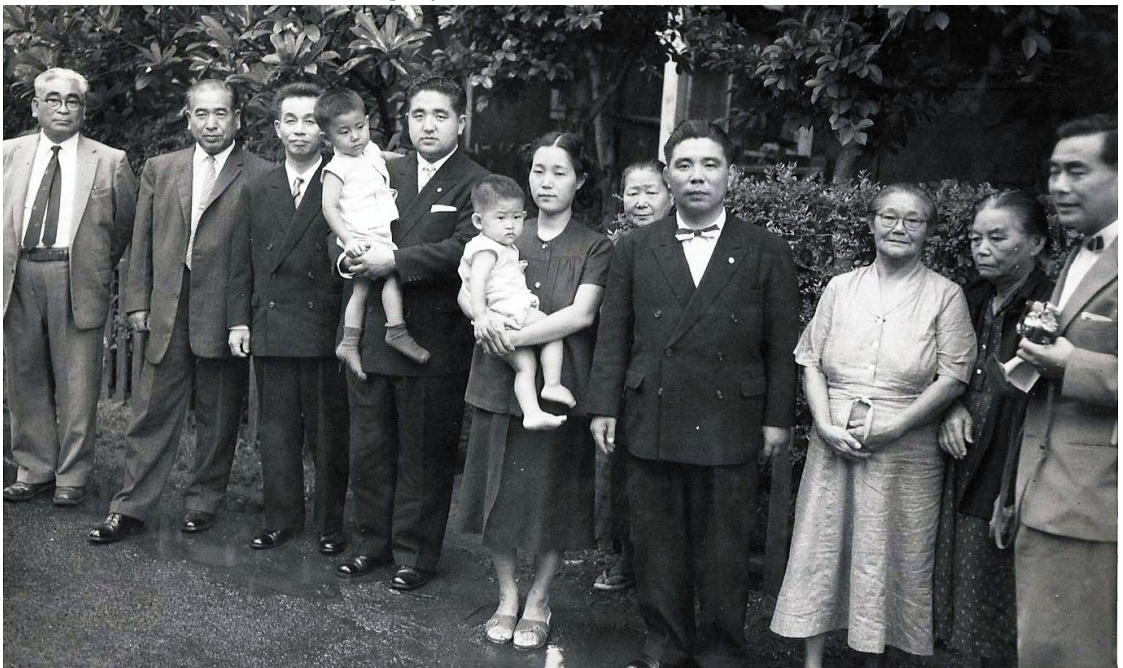


Rev. Yoshinobu & Tomiko Nakao arrive at Honolulu Harbor on August 19, 1954.



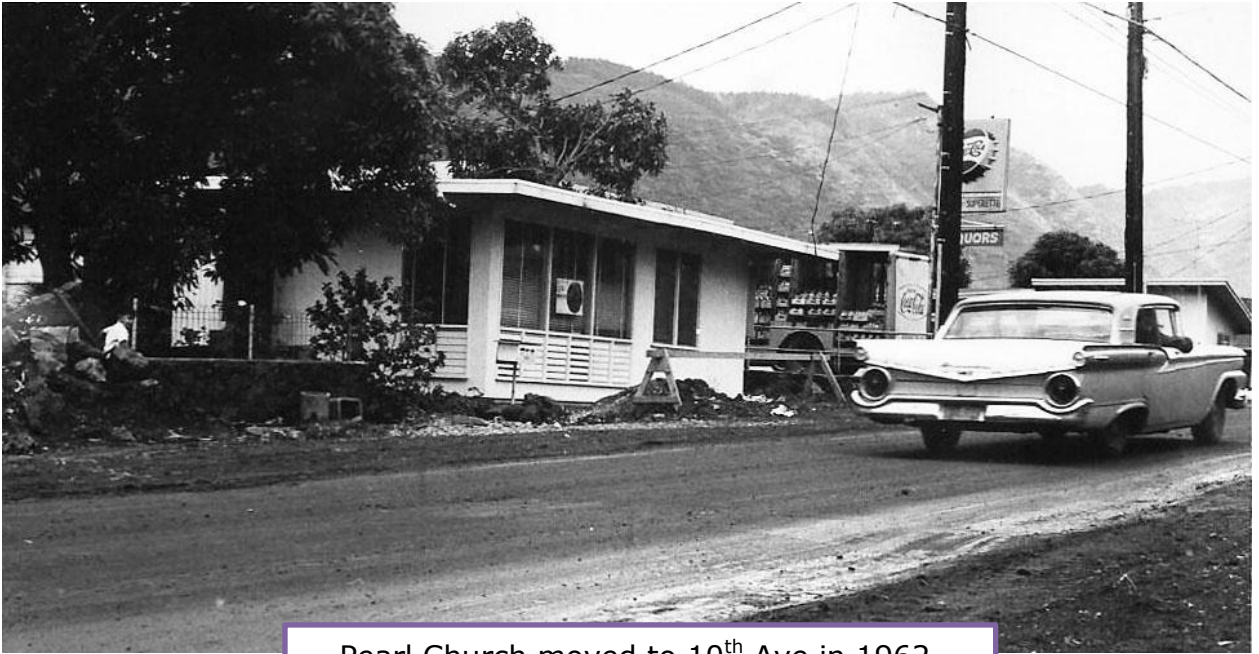


Pearl Church's Second Head Minister's installation service on October 13, 1957.  
Photographer: Rev. Yoshinobu Nakao

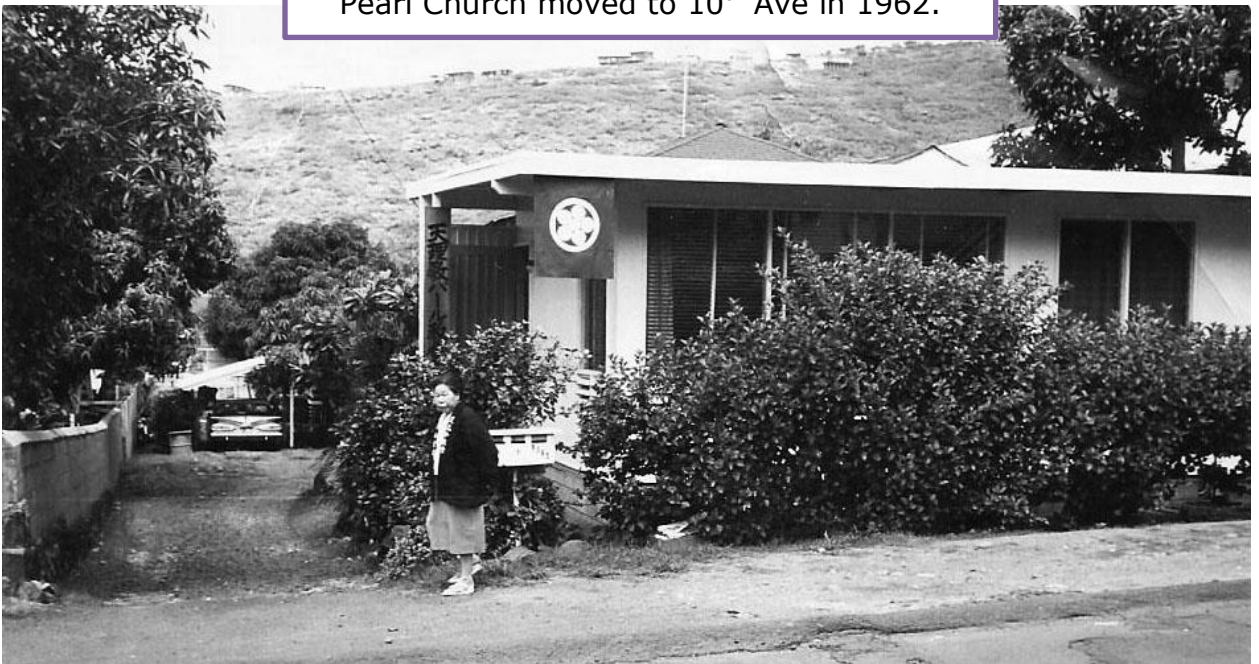


A visit from the Zenye Nakayama, prior to becoming the Shinbashira, in August of 1958.





Pearl Church moved to 10<sup>th</sup> Ave in 1962.







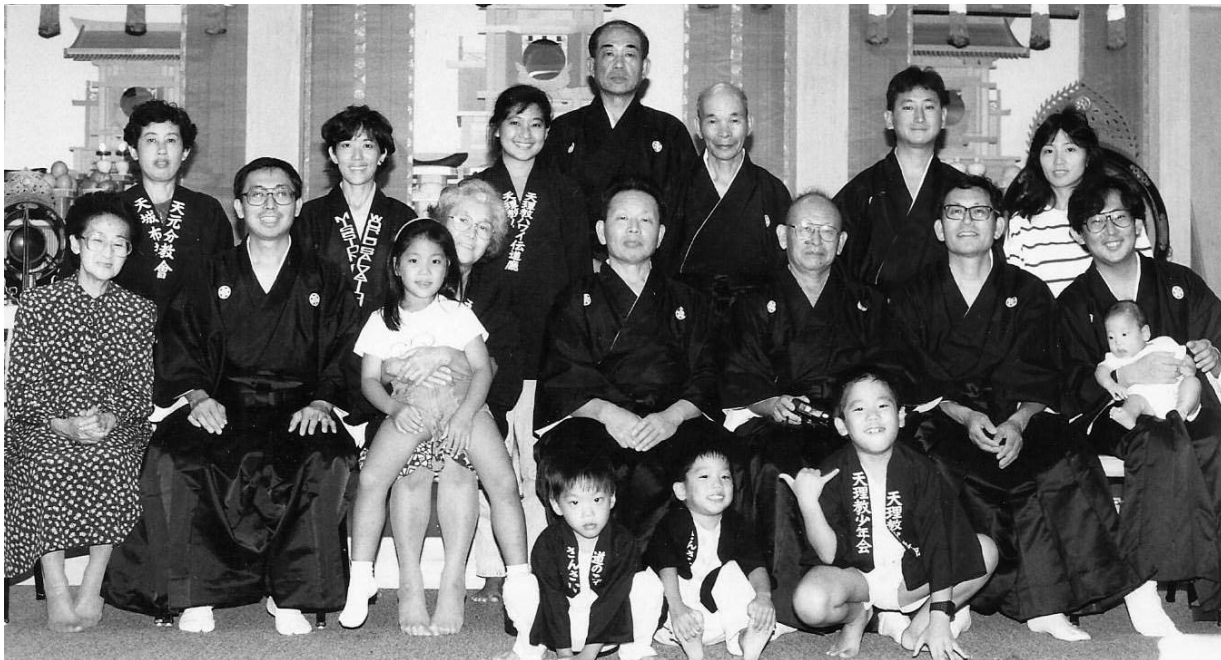
Rev. Yoshinobu and Tomiko Nakao raised 5 children.



Visit from the 3<sup>rd</sup> Shinbashira on June 16, 1974.

Top: 3<sup>rd</sup> Shinbashira, Zenye Nakayama, Mrs. Nakayama; Bottom: Owen, Morris, Elmer, Carl, Grace.





Pearl Church reconstruction completed on 1989.  
Visited by the Tengen Head Minister, Mitsuhiro Nakao, and followers.







On May 14, 1994, Pearl Church was visited by the 3<sup>rd</sup> Shinbashira.



On September 11, 1994, the 3<sup>rd</sup> Head Minister Installation Service was held for Rev. Owen Nakao.



## Tenrikyo Pearl Church 80th Anniversary



On June 14, 2013, we were visited by the 4<sup>th</sup> Shinbashira.



On November 22, 2013, Pearl Church had acquired the adjacent property.



Tenrikyo Pearl Church  
1634 10<sup>th</sup> Ave.  
Honolulu, Hawaii 96816

